

I 研修内容

「教師間の連携と効果的な指導体制作りについて」

1. 「自立活動指導手順シート」を基に、児童それぞれの現状と課題を確認
2. 個々の課題に応じた専門家活用とその指導内容や助言等を共有する場の設定

II 研究成果(今後の取組)

1. 児童の現状・課題を確認

- (1) TT会を通して、学級の教員と抽出自立活動を担当している教員で、児童それぞれの現状と課題を共有することができた。それを基に、学級児童全員の自立活動における取り組み内容を簡単にまとめた表(以下「自活まとめ表」)を作成した。また、自立活動の指導内容を整理して、担任と抽出自活の担当教員とで指導内容の棲み分けをすることができた。

2. 専門家活用と情報共有

- (1) 姿勢指導や専門家活用研修等を活用し、名護療育医療センターや外部のPT、OBの教員から、個別課題に応じたアプローチの方法を学んだ。主に、校内にある教材教具や児童の持ち物を活用した方法を教授してもらったことで、継続的な指導に取り組むことができています。

- (2) TT会や研修の時間に、専門家による指導内容や助言等を、学級の教員と抽出自活の担当教員とで共有した。指導場面の記録動画や写真を提示することで、教員間での共通理解を進めることができた。また、助言を受けて、新たに取り入れた活動内容を「自活まとめ表」に書き加えていった。

III 研究課題(今後の取組)

1. 児童の現状・課題を確認

- (1) 今後もTT会での情報共有を進めていくとともに、日常的に指導内容・方法を相談し合える関係づくりも継続して取り組んでいきたい。
- (2) 今回の研修を通して作成した「自活まとめ表」を活用して、学級内で情報交換をしたり、教材教具の貸し借りをしあったりできるようにしていきたい。

2. 専門家活用と情報共有

- (1) 専門家による助言を動画、写真等で記録し、次年度への引き継ぎ資料作成に活用する。
- (2) 児童それぞれの課題や教師の困り感の解決に向けて、今後も積極的に専門家活用に取り組んでいきたい。